

特に力を入れる 4つの取り組み

「第九回はんだ山車まつりの開催」

はんだ山車まつりは、テーマを「慶^{よろこび}」と定め、市民、山車組、経済界、行政が総力を挙げて取り組み、大成功に導くことで、コロナ禍を乗り越えた喜びを皆で分かち合いたいと思います。



1

「新美南吉生誕110年記念事業」

新美南吉生誕110年記念事業は、市民がより一層、南吉文学に親しめるよう、また、全国から南吉ファンを半田市に迎えられるよう、市民や企業、団体と連携しながら年間を通して記念事業を展開します。



「幸せになるための教育」

これからの時代を担っていく子どもたちには、自分自身の判断基準で物事を見極め、行動していく力を養うことが大切であり、その判断基準となるのが「幸せ」だと考えます。子どもたちが、自分の幸せ、周りの幸せについて、真剣に考え、行動につなげられるよう、令和5年度から、各学校や教員が主体的に考え、授業や行事などで幸せという視点を取り入れるなど、自由に進めていく形で幸せになるための教育を実施します。

2

「中心市街地の活性化」

中心市街地は、そのまちの顔とも言われます。中心市街地が活性化し、魅力あるエリアになることは、市全体の活気につながります。まちづくりに必要となる拠点の整備なども視野に入れ、官と民による中心市街地の活性化に取り組んでいきます。



3

「6次産業化を通じた農業者支援」

6次産業化農業者支援では、グループワークの開催や個々に必要な支援・アドバイスを行い、農業者の自立を目指します。半田市と自園の魅力を発信できる地域プロデュースの視点を持った「語れる農家」を増やすとともに、農業者間や地域との連携を進め、本市を中心とした知多半島の「食・コンテンツ」が、大都市や世界で通用する商品となることを目指していきます。

「DXの推進」

「いつでも」「どこでも」「簡単」「便利」なデジタルシティ・半田の実現を目指します。自治体DXを加速させ、市民生活をより良いものへと変革していきます。行政手続きについて、パソコンやスマートフォンで可能な手続きの全てのオンライン化を目指します。子育て・教育分野でも、デジタル化を加速していきます。令和5年度には、子どもの健診記録、予防接種記録などの管理ができる母子健康手帳アプリを導入します。



4

地域福祉

- ・市民の複雑化、複合化した支援ニーズに寄り添い、的確に対応するため、コミュニティソーシャルワーカーを増員します。現在の体制を拡充し、アウトリーチによる相談支援体制の強化を図ります。
- ・生活困窮者への支援については、就労支援や家計改善など、社会福祉協議会やハローワークなど関係機関と連携し、相談者に寄り添った支援を行っています。

経営基盤の強化

- ・下水道事業について、汚水の処理費用など本来使用料で賄うべき料金の適正化を図るため、4月から使用料の改定を実施します。
- ・国民健康保険事業について、被保険者の高齢化や医療の高度化により、一人あたりの医療費は増加傾向にあり、基金残高も枯渇が見込まれるため、令和5年度から保険税率の引き上げを行います。

環境

- ・ゼロカーボンシティの実現に向け、公共施設の照明のLED化を実施します。
- ・家庭系ごみ排出量の目標値である466gを達成した場合、ごみ減量協力還元策として指定資源回収袋を市民に配布します。

快適な住環境

- ・臨海部の慢性的な渋滞については、亀崎6丁目交差点の南向き車線の左折レーン延伸の検討、衣浦大橋トラス橋の架け替えと国道247号の4車線化の早期着手を愛知県に要望していきます。
- ・地区路線バスについては、令和7年春の新病院移転後の公共交通環境を見据えた第2次半田市地域公共交通計画の策定に着手します。